



進路通信

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

発行 進路指導部

短期インターンシップを終えて

1年生の「短期インターンシップ」は、新型コロナウイルス感染症の影響による未実施の時期や半日のみ実施の時期が続きましたが、今年度は久しぶりに体験時間を全日とし、各企業のご協力のもと、1月27（月）～1月31日（金）の期間で無事に3日間実施することができました。

生徒たちにとっても、本校に入学して初めての本格的な就業体験でしたが、学校に戻った生徒たちからは、「良い経験ができた」「少し自信がついた」「また行きたい」「学校とは違い、仕事の大変さが分かった」など、達成感や働くことへの意欲の向上とともに課題意識を表す声が多く聞かれました。今回の経験を、今後の学校生活にも活かして行ってほしいと思います。

保護者の皆様には、日誌のご記入や食事や睡眠、体調管理等、さまざまご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。

事後学習 生徒の感想（わかったこと・気づいたこと・働く上で大切なこと）

製造（食品以外）

- 働くうえで大切なことは、作業の指示をよく聞きメモを取ること。
- 自分の作業が次の製品のパーツになると意識して作業することが大切。
- どの作業も大切に行い、「次の部品を渡すのがお客様」という気持ちで働くことが大切。
- 作業をするときはコミュニケーションが大切だとわかった。

製造（食品）

- 食品を扱うので衛生管理が大切。
- 低温の作業部屋があり、体温調節が難しい。
- 大きな声でのあいさつや返事が大切。
- 体調管理、時間管理が大切。
- 体力や集中力が必要。
- 長時間での作業なので、しっかり休憩をとることが大切。

物流

- あいさつや返事が大切。
- 周りに気をつけて作業することが大切。
- 規則正しい生活、欠席・遅刻・早退をせず出勤できること。
- 思った以上に立ち仕事がかつた。物流の仕事は体力が必要だと感じた。

飲食・厨房

- 丁寧な言葉づかいや礼儀、相手に伝わる声で話すことが大切。
- 苦手なことにも挑戦することが大事。
- 立って仕事をするが多いため体力が必要。
- 4Sの徹底により作業効率が上がった。【効率】
- 落した物があれば洗いなおす、サラダの補充時は必ず手袋をつける。【衛生】
- 手ぎわよく作業をする。【スピード】
- 声出しをする。【元気・笑顔】
- 水の音はお金の音。水を使いすぎないように気をつける。【節約】
- 自分で歩いて仕事を見つける。【行動力】

小売販売

- お客様を一番に考えること。
- 実際に仕事をすることで、自分の苦手なところ、得意なところがわかり、次に活かせるとわかった。
- お客様がまた来たいと思えるように明るく返事やあいさつをすることが大切。
- 職場の方とコミュニケーションを積極的にとることで、わからないことを聞きやすくなるし、教えてもらいやすくなる。
- やりがいを感じたのは、お客様からほめられたり、お礼を言われたりしたこと、品出しをした物を買ってもらえたこと、そしてきれいに商品整理ができたこと。

清掃

- 人とすれ違う際は必ずあいさつをする。
- チームで動くうえで返事やあいさつが大切。
- あいさつが印象づくりに一番大切。
- 学校のやり方とは少し違うけれど、職場の清掃のやり方に合わせる事が大切。
- お客様を意識したルールがあることがわかった。
- 自分のした仕事の評価やアドバイスをしっかりと聞くことが大切。
- まわりを見て安全に作業する。
- 仕事が終わった後は必ず報告してから次の仕事をする。
- 使った掃除道具は必ず元の場所に戻すこと。
- 体力が必要な仕事。○体調管理をしっかりする。

園芸

- 仕事に向かう姿勢の大切さを知った。
- 自分からメモを取る意識をもつこと。
- あいさつは明るく自分からすること。
- 体調管理が大切。(雨天でも作業がある)
- メモを見返し、同じ質問を二度しない。
- コミュニケーションをとることが大事。
- 天候により予定変更があるため、臨機応変に対応することが大事。
- 道具を大切にすること。

介護

- あいさつ、言葉遣いや礼儀が大切。
- ご利用者様に同じことを聞かれても初めて聞いたように対応することが大切だと知った。
- 耳の聞こえづらいご利用者様には、ゆっくり、はっきりとしゃべる。
- 命をあずかっている職場で、つねに休みなく作業をしていて大変だなと思った。

保育

- 子どもたちの安全に気をつけてお散歩のつきそいができた。
- 子どもたちにほめたりはげましたりする言葉をたくさんかけることができた。
- 子どもたちの目線に合わせてかかわれた。
- はじめはどう接したらよいかわからなかったが、3日間をとおして、寝かしつけをしたり一緒に遊んだり、自分から子どもたちとかかわれた。

事務

- セルフチェックを確実に行う。
- 見直しをする。【正確性】
- 傷を付けないように丁寧に作業をする。
- 仕事中は集中力を切らさない。
- 報告・連絡・相談を確実にする。
- わからないときはすぐに聞く。
- わからなかったことを教えてもらったら感謝を伝える。
- 時間管理。ONとOFFを切りかえることが大切。
- 相手の目を見て話を聞く。
- 年上、年下関係なく敬語を使う。
- 慣れても手順通りに作業をすることの大切さに気づいた。

～課題を改善するのは普段の生活から～

短期インターンシップでは、一人ひとりそれぞれの課題が見えてきました。個別面談で示された評価と自己評価とを比べると、かなり“差”があったのではないのでしょうか。今後は、その“差”を縮めていくことが大切になっていきます。

具体的な課題の中に「元気な声であいさつや返事ができない」「報告・連絡・相談をためらっている」「忘れ物をしてしまった」「遅刻をしてしまった」などがあつたはず。このような課題は、普段の生活がそのまま出た結果であると感じます。「インターンシップではちゃんとやる」「やろうと思えばできる」と言う生徒もいますが、日々の学校生活、日常生活の中でできていないことは、外でもできません。企業の方はよく見えています。

2年生のインターンシップ、その先の現場実習、就労先で安定して自分の力を発揮するために、普段の生活から課題を意識し、改善しようと実際に取り組んでいくことが大切です。周りから注意や指摘を受け、アドバイスされることはあまり嬉しくないかもしれません。しかし、それは決して「怒られている」ではありません。2年後に迫っている「就労」に向けて、今、逃げずに課題に向き合うことが求められます。課題を改善することは簡単ではありません。2年後に向けて、今から少しずつ取り組み、卒業する時に「頑張ってきた良かった！」と思えるように普段の生活から取り組んでいきましょう。

ぜひ、ご家庭でも、短期インターンシップで明らかになった「課題」について話題にしていただき、家庭生活の中でも意識して取り組んでいくことをご指導いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

